

秋のスズメバチはなんで刺すか

自然解説員 澤田勝生

秋になると聞こえてくるのがハチに刺されたという被害です。行楽シーズンで山に入る人が多
いというのも理由としてはありますが、それ以上に大きいのがスズメバチの生態によるもので
しょう。今年ではコロナで例年よりは山に入って刺される人も少ないでしょうが、被害を減らし
誤解を正しハチと人が上手く付き合っていくためには、大事なことなので何故スズメバチは秋
によく刺すのか解説していきたいと思います。

<秋のスズメバチは気が立ってる>

スズメバチにとって一番大事な時期が秋です。スズメバチというのは女王を中心とした社会
を作る虫です。兎にも角にも女王が一番で、これを中心に社会が回っています。そのような中で
一年の内、新しい女王が産まれるのが秋なので被害が多くなります。

スズメバチはミツバチのように巣にエサを貯めることが出来ないので、エサのなくなる冬を
生き残ることができません。働きバチもオスバチも女王バチも冬を越せずに全滅します。そん
な中で冬を越せるのは秋に産まれる新女王バチだけです。新女王バチだけが冬を越して命を繋
ぐことができるのです。新しい女王バチを育てることができなければ、その巣は血が絶えて
子孫を残すことができません。

なので新しい女王バチが産まれるのを守ってな
にがなんでも無事に育てるために、働きバチ
たちは凶暴化し死に物狂いで攻撃してきます。

一年かけて巣を大きくしてたくさんの働きバチ
という兵力もため込んでいますから、真社会性
昆虫の「私が死んでも代わりはいるもの」的なノ
リで自分が生き残ることを考えずに私たちが巣
に近づいただけで攻撃してきます。



<ハチの気持ちからすると…>

それにしても何もしていないのに巣に近づいただけで攻撃してきますから、理不尽に感じることもあるでしょう。昔からクロスズメバチの幼虫(ハチの子)に代表されるように、我々は食べるためにハチの巣を攻撃して巣を壊した上に根こそぎ幼虫を奪ってきました。人間以外にも冬眠前のクマなどハチの巣を襲う動物はいますが、とにかくハチからしたら巣に近づく大型の動物なんてものは巣を破壊して子供を皆殺しにする怪獣以外の何者でもないので。そんなものが大事な新女王バチを育てているところに近づいて来る訳ですから、それは必死で攻撃して追いかおうとしてくるのです。



スズメバチは近づくだけで刺してくるので、とにかく巣に近づかないようにしましょう。複数匹同じ辺りにスズメバチがいたりカチカチと威嚇されたりしたら巣が近いのでとにかく来た道を引き返してさっさと逃げましょう。

<山に入るときは刺された時の準備を>

スズメバチは巣に近づいただけで刺してくるのですが、いかなせんスズメバチは短気で威嚇から攻撃までがすくな上に土中や木の根元なんかの見えづらい場所に巣を作りますから、注意していても刺される時は刺されます。

山に入るときはハチに刺されたときの応急処置ができるよう道具などを準備してから行くようにしましょう。

というのもハイキングや登山中にハチに刺されて救急車を呼んでも、救急車は麓までしか入れませんから自力で山を下りる必要があります。大量のスズメバチに刺されたりハチ毒にアレルギーがある体質の人だったりすると、下山中に多量の毒やアナフィラキシーショックで重症化し治療が間に合わずに亡くなる可能性があるため、山中で刺されたら自力で応急処置をして救急車に乗るまで保たせなければなりません。

山に入るときはハチ刺傷用の応急処置の知識と道具を準備しましょう。処置の方法や道具については国立感染症研究所などの様々な医療機関がホームページに載せていますから、例として以下のようなホームページなどを参考に用意してください。

「岡山大学保健管理センター 事故防止と処置 ハチ刺傷」

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hokekan/jikoboshi/hati.html>

「佐渡市 暮らしの情報 ハチに刺されたときの応急処置」

<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/6002/3293.html>

「豊島区 暮らし・地域 ハチに刺されたときの応急処置」

<https://www.city.toshima.lg.jp/214/kurashi/ese/nezumitomushi/gaichu/hachi/001735.html>

<最後に>

登山やハイキングをする時、人間はあくまで山に侵入する立場ですから、どうか謙虚な気持ちでハチの立場も理解して尊重してあげてください。ある科学者は「生物が一種いなくなるのは私たちが乗る飛行機のネジが一本なくなるようなもの」と言いました。スズメバチは生態系を保持上で重要な位置を占める昆虫ですから、迷惑なときがあっても私たちにとっては必要不可欠な昆虫なのです。お互いに共存できることを私としては願っています。

ご近所や自宅付近にスズメバチの巣ができたときはお住まいの市区町村や駆除業者にご相談ください。危ないのに無理して放置する必要はないです。

作成：2021年9月 21世紀の森と広場パークセンター